



概要

Cisco CallManager は、コールを処理するためのソフトウェア ベースのコンポーネントであり、Cisco Communications ファミリの製品です。さまざまなタイプの Cisco Media Convergence Server が、Cisco CallManager のコール処理、サービス、およびアプリケーションに対して可用性の高いサーバ プラットフォームを提供します。

Cisco CallManager システムは、企業のテレフォニー機能をパケット テレフォニー デバイスまで拡張して、たとえば、IP Phone、メディア処理デバイス、Voice-over-IP (VoIP) ゲートウェイ、マルチメディア アプリケーションなどを提供します。その他にも、統合メッセージング、マルチメディア 会議、コラボレーション連絡センター、対話型マルチメディア応答システムなどで使用されるデータ、音声、ビデオの各サービスでは、オープン型の Cisco CallManager テレフォニー API を利用してサービス間の情報を交換することが可能になります。

Cisco CallManager は、Cisco 統合テレフォニー アプリケーションおよびサードパーティ アプリケーションに対して、シグナリングとコール制御のサービスを提供します。主な機能は、次のとおりです。

- コール処理
- シグナリングとデバイス制御
- ダイヤル プランの管理
- 電話機能の管理
- ディレクトリ サービス
- Operations, administration, management, and provisioning (OAM&P; 操作、アドミニストレーション、管理、およびプロビジョニング)
- Cisco IP Communicator、Cisco IP Interactive Voice Response (IP IVR)、Cisco CallManager Attendant Console などの外部音声処理アプリケーションに対するプログラミング インターフェイス

追加情報

[P.1-10 の「関連項目」](#) を参照してください。

主な機能と利点

Cisco CallManager システムには、音声会議と WebAttendant 機能を利用するのに必要な一連の統合音声アプリケーションが組み込まれています。音声アプリケーションが組み込まれているため、音声処理用に特別のハードウェアは必要ありません。保留、任意転送、自動転送、会議、複数回線通話、自動ルート選択、スピードダイヤル、前回かけた番号のリダイヤルなどの補助的な拡張サービスが、IP Phone とゲートウェイに付加されます。Cisco CallManager はソフトウェアアプリケーションなので、実稼働環境で機能を拡張するには、サーバプラットフォーム上でソフトウェアをアップグレードするだけで済み、高価なハードウェアのアップグレード費用が不要になります。

Cisco CallManager は、すべての Cisco IP Phone、ゲートウェイ、アプリケーションと IP ネットワーク全体に配備が可能のため、分散型のバーチャル テレフォニ ネットワークを構築することができます。このアーキテクチャにより、システムのアベイラビリティとスケーラビリティが向上します。コールアドミッション制御により、帯域幅に制約のある WAN リンク内での音声 QoS が保証され、WAN 帯域幅が十分でないときには別の公衆電話交換網 (PSTN) にコールが自動転送されます。

Cisco CallManager 設定データベースへのインターフェイスは通常の Web ブラウザを使用しているので、リモート デバイスとリモート システムの設定機能も提供しています。ユーザおよび管理者は、このインターフェイスを使用して HTML ベースのオンライン ヘルプにアクセスすることができます。

アプライアンスと同様に動作するように設計された Cisco CallManager Release 5.0 は、次の機能を備えています。

- Cisco CallManager サーバは、お客様やパートナーがサーバを配置しやすいように、ソフトウェアとともに事前にインストールされた状態で入手できます。このサーバはアップデートを自動的に検索し、システムに対する重要なセキュリティ修正やソフトウェアアップグレードが使用可能になると、管理者に自動的に通知することができます。このプロセスは、Electronic Software Upgrade Notification と呼ばれます。
- Cisco CallManager サーバは、コールの処理を続けたままアップグレードすることができるため、アップグレードは最小限のダウンタイムで完了します。
- Cisco CallManager は高解像度の電話ディスプレイ上で Unicode をサポートしているため、アジアおよび中東地域での使用をサポートしています。
- Cisco CallManager は、Fault, Configuration, Accounting, Performance, and Security (FCAPS) を提供します。

追加情報

P.1-10 の「関連項目」を参照してください。

Cisco CallManager Administration の参照

Cisco CallManager Administration プログラムには、Cisco CallManager がインストールされていない、Web サーバ以外の PC からアクセスします。Cisco CallManager Administration のサーバ上には、ブラウザ ソフトウェアはありません。サーバの参照の詳細については、P.1-3 の「Web ブラウザ」を参照してください。

追加情報

P.1-10 の「関連項目」を参照してください。

Web ブラウザ

Cisco CallManager Administration は、次の Microsoft Windows オペレーティング システム ブラウザをサポートしています。

- Microsoft Internet Explorer (IE) 6.0 以降
- Netscape 7.1 以降

ネットワーク内の任意のユーザ PC から、Cisco CallManager Administration を実行しているサーバを参照し、管理特権でログインします。



(注)

多数のユーザが同時に Cisco CallManager Administration にログインすると、パフォーマンスが低下する場合があります。同時にログインするユーザおよび管理者の数は制限してください。

Cisco CallManager Administration へのログイン

Cisco CallManager Administration にログインする手順は、次のとおりです。

手順

サーバを参照して Cisco CallManager Administration にログインする手順は、次のとおりです。

ステップ 1 適切なオペレーティング システム ブラウザを起動します。

ステップ 2 Web ブラウザのアドレスバーに次の URL を入力します。大文字と小文字は区別してください。

`https://<CCM-server-name>:{8443}/ccmadmin/showHome.do`

ただし、<CCM-server-name> はサーバの名前または IP アドレスです。



(注)

ポート番号を指定することもできます。

ステップ 3 Security Alert ダイアログボックスが表示されます。適切なボタンをクリックします。

- ステップ 4** Logon ウィンドウで、Cisco CallManager のインストール中に指定したアプリケーション ユーザ パスワードを入力し、**Submit** をクリックします。

Cisco CallManager Administration ウィンドウが表示されます (図 1-1 を参照)。



- (注)** セキュリティを維持するために、30 分が経過すると、ユーザは Cisco CallManager Administration によってログアウトされます。この場合は、もう一度ログインする必要があります。

追加情報

P.1-10 の「関連項目」を参照してください。

Cisco CallManager Administration からのログオフ

手順

Cisco CallManager Administration からログオフする手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** Cisco CallManager Administration のメイン ウィンドウで、右上にある **Log Off** ボタンをクリックします (図 1-1 を参照)。

- ステップ 2** Logon ウィンドウが表示されます。

追加情報

P.1-10 の「関連項目」を参照してください。

Secure Sockets Layer 上のハイパーテキスト転送プロトコル (HTTPS)

ブラウザクライアントと Web サーバ間 (Microsoft Windows ユーザの場合) の通信を保護する Secure Sockets Layer (SSL) 上のハイパーテキスト転送プロトコルは、証明書およびインターネット上で転送されるデータを暗号化する公開鍵を使用します。また、HTTPS は、ユーザのログインパスワードが Web 経由で安全に転送されるようにします。Cisco CallManager Administration、Cisco CallManager Serviceability、Cisco CallManager User Options、Trace Collection Tool、Real-Time Monitoring Tool (RTMT)、および XML (AXL) アプリケーションプログラミングインターフェイスの各 Cisco CallManager アプリケーションは、HTTPS をサポートしており、HTTPS によってサーバの ID を保証します。

自己署名証明書は、インストール時に Web サーバ上で生成されます (この証明書は、アップグレード時にも移行されます)。



(注) ホスト名を使用して Web アプリケーションにアクセスし、信頼できるフォルダ内の証明書をインストールしてから、ローカルホストまたは IP アドレスを使用してアプリケーションにアクセスしようとする、セキュリティ証明書の名前がサイトの名前と一致しないことを知らせる Security Alert ダイアログボックスが表示されます。

ローカルホスト、IP アドレス、または URL 内のホスト名を使用して HTTPS をサポートしているアプリケーションにアクセスする場合は、URL タイプごとに（ローカルホスト、IP アドレスなどとともに）信頼できるフォルダ内に証明書を保存する必要があります。URL のタイプごとに証明書を保存しない場合、各タイプに対して Security Alert ダイアログボックスが表示されます。

Cisco CallManager Administration での Internet Explorer および HTTPS の使用方法

Web アプリケーションにアクセスするたびに Security Alert ダイアログボックスが表示されないように、信頼できるフォルダ内に CA ルート証明書を保存する手順は、次のとおりです。ブラウザクライアントから Cisco CallManager 5.0 をインストールまたはアップグレードした後に、システム管理者（またはユーザ）が最初に Cisco CallManager Administration または他の Cisco CallManager SSL が使用可能になっている仮想ディレクトリにアクセスするとき、サーバを信頼するかどうかをたずねる Security Alert ダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックスが表示されたら、次の作業のいずれかを実行します。

- Yes をクリックして、現在の Web セッションに対してのみ証明書を信頼する。現在のセッションに対してのみ証明書を信頼すると、Security Alert ダイアログボックスは、信頼できるフォルダに証明書をインストールするまで、アプリケーションにアクセスするたびに表示されます。
- View Certificate > Install Certificate の順にクリックして証明書のインストールを実行し、その証明書を常に信頼することを指定する。信頼できるフォルダ内に証明書をインストールした場合、Web アプリケーションにアクセスするたびに Security Alert ダイアログボックスが表示されることはありません。
- No をクリックして、操作をキャンセルする。認証は行われず、Web アプリケーションにアクセスできません。Web アプリケーションにアクセスするには、Yes をクリックするか、View Certificate > Install Certificate オプションで証明書をインストールする必要があります。

Security Alert ダイアログボックスで実行できるその他の作業については、『Cisco CallManager セキュリティガイド』を参照してください。

手順

- ステップ 1** Web サーバ上のアプリケーションを参照します。
- ステップ 2** Security Alert ダイアログボックスが表示されたら、**View Certificate** をクリックします。
- ステップ 3** Certificate ペインで、**Install Certificate** をクリックします。
- ステップ 4** **Next** をクリックします。
- ステップ 5** **Place all certificates in the following store** オプション ボタンをクリックし、**Browse** をクリックします。
- ステップ 6** **Trusted Root Certification Authorities** を参照します。
- ステップ 7** **Next** をクリックします。

ステップ 8 **Finish** をクリックします。

ステップ 9 証明書をインストールするために、**Yes** をクリックします。

インポートが正常に行われたことを知らせるメッセージが表示されます。**OK** をクリックします。

ステップ 10 ダイアログボックスの右下にある **OK** をクリックします。

ステップ 11 証明書を信頼し、このダイアログボックスを再び表示しない場合は、**Yes** をクリックします。



(注) ローカルホスト、IP アドレス、または URL 内のホスト名を使用して HTTPS をサポートしているアプリケーションにアクセスする場合は、URL タイプごとに（ローカルホスト、IP アドレスなどとともに）信頼できるフォルダ内に証明書を保存する必要があります。URL のタイプごとに証明書を保存しない場合、各タイプに対して Security Alert ダイアログボックスが表示されます。

追加情報

P.1-10 の「関連項目」を参照してください。

Cisco CallManager Administration での Netscape および HTTPS の使用方法

Netscape で HTTPS を使用する場合、証明書の資格情報を表示し、1 回のセッションに対して証明書を信頼する、期限が切れるまでその証明書を信頼する、または証明書を信頼しない、のいずれかを選択できます。



ヒント

1 回のセッションに対してのみ証明書を信頼する場合は、HTTPS がサポートされているアプリケーションにアクセスするたびに次の手順を繰り返す必要があります。証明書を信頼しない場合は、アプリケーションにアクセスできません。

次の手順を実行して、信頼できるフォルダに証明書を保存します。

手順

ステップ 1 Netscape を使用して、アプリケーション（たとえば、Cisco CallManager Administration）を参照します。

認証権限を選択するダイアログボックスが表示されます。

ステップ 2 次のいずれかのオプション ボタンをクリックします。

- Accept this certificate for this session
- Do not accept this certificate and do not connect
- Accept this certificate forever (until it expires)



(注) Do not accept を選択した場合、アプリケーションは表示されません。



(注) 作業を続行する前に証明書の資格情報を表示する場合は、**Examine Certificate** をクリックします。資格情報を確認し、**Close** をクリックします。

ステップ 3 OK をクリックします。

Security Warning ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 4 OK をクリックします。

追加情報

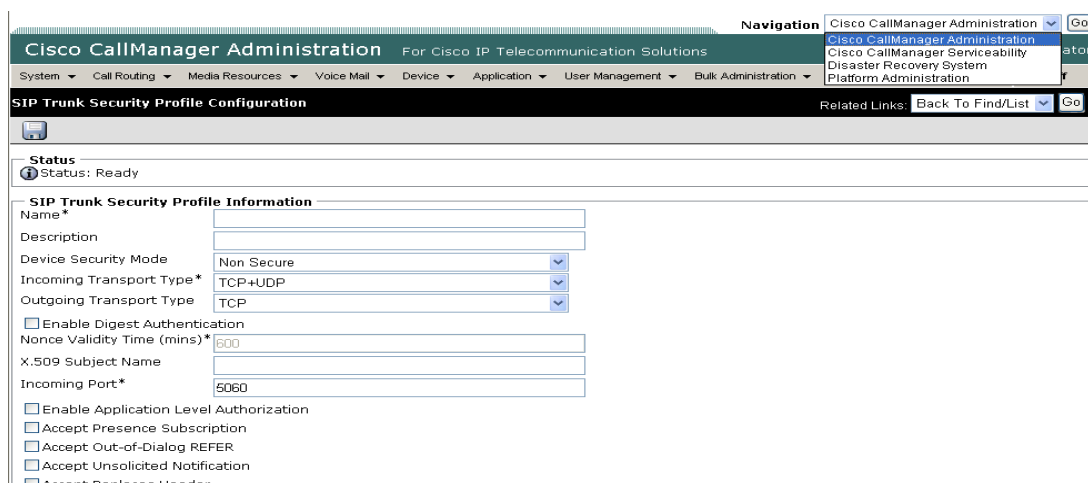
P.1-10 の「[関連項目](#)」を参照してください。

Cisco CallManager Administration アプリケーションでの操作

ログインすると、Cisco CallManager Administration のメイン ウィンドウが表示されます。このウィンドウの右上には、**Navigation** と呼ばれるドロップダウン リストボックスがあります (図 1-1 を参照)。このドロップダウン リストボックスにあるアプリケーションにアクセスするには、必要なプログラムを選択し、**Go** をクリックします。ドロップダウン リストボックスに表示されるオプションは、次の Cisco CallManager アプリケーションです。

- **Cisco CallManager Administration** : Cisco CallManager にアクセスすると、デフォルトを表示します。システム パラメータ、ルート プラン、デバイスなどを設定するには、Cisco CallManager Administration を使用します。
- **Cisco CallManager Serviceability** : Cisco CallManager Serviceability のメイン ウィンドウを表示します。このアプリケーションは、トレース ファイルとアラームを設定し、サービスをアクティブまたは非アクティブにするために使用します。
- **Disaster Recovery System** : Cisco Disaster Recovery System を表示します。このアプリケーションは、Cisco CallManager クラスタのすべてのサーバに対して、データの完全バックアップおよび復元機能を提供します。
- **Platform Administration** : ログイン ウィンドウを表示して、Cisco CallManager プラットフォームを設定および管理できるようにします。

図 1-1 Cisco CallManager Administration の Navigation



これらのアプリケーションは、セキュリティが強化されています。このため、これらのプログラムにアクセスするには、まずユーザ ID とパスワードを入力する必要があります。

追加情報

P.1-10 の「[関連項目](#)」を参照してください。

アクセシビリティ

Cisco CallManager Administration および Cisco CallManager User Options は、マウスを使用しなくてもウィンドウ上のボタンにアクセスできる機能を備えています。ウィンドウ上のどの位置でも次の手順を実行できるため、さまざまなフィールドを移動するときに、スクロールしたり Tab キーを押したりする必要はありません。

ウィンドウにあるアイコンへのアクセス

Cisco CallManager と Cisco PCA の多くのウィンドウには、ウィンドウの一番上にアイコンがあります。たとえば、保存を実行するためのディスクのアイコン、追加を実行するためのプラス記号 (+) のアイコンなどです。これらのアイコンにアクセスする手順は、次のとおりです。

1. **Alt** キーを押し、**1** キーを押して、**Tab** キーを押します。左側の最初のアイコンが強調表示されます。次のアイコンに移動するには、もう一度 **Tab** キーを押します。
2. **Enter** キーを押します。アイコンが表している機能（追加など）が実行されます。

ウィンドウにあるボタンへのアクセス

Cisco CallManager と Cisco PCA の多くのウィンドウには、ウィンドウの一番下にボタンがあります。たとえば、保存のボタンや追加のボタンなどです。これらのボタンにアクセスする手順は、次のとおりです。

1. **Alt** キーを押し、**2** キーを押して、**Tab** キーを押します。左側の最初のボタンが強調表示されます。次のボタンに移動するには、もう一度 **Tab** キーを押します。
2. **Enter** キーを押します。ボタンが表している機能（保存など）が実行されます。

参考情報

- *Cisco CallManager システム ガイド*
- *Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド*
- *Cisco CallManager Serviceability システム ガイド*
- *Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーション ガイド*
- *Cisco CDR Analysis and Reporting Administration Guide*
- *Cisco IP テレフォニー ソリューション リファレンス ネットワーク デザイン ガイド*
- *Cisco CallManager Release 5.0(1) インストレーション ガイド*
- *Cisco CallManager Release 5.0(1) アップグレード手順*
- *Cisco CallManager セキュリティ ガイド 5.0*
- *Cisco IP Telephony Platform Administration Guide*
- *Cisco IP Telephony Disaster Recovery System Administration Guide*

関連項目

- [概要 \(P.1-1\)](#)
- [主な機能と利点 \(P.1-2\)](#)
- [Cisco CallManager Administration の参照 \(P.1-3\)](#)
- [Cisco CallManager Administration での Internet Explorer および HTTPS の使用方法 \(P.1-5\)](#)
- [Secure Sockets Layer 上のハイパーテキスト転送プロトコル \(HTTPS\) \(P.1-4\)](#)
- [Cisco CallManager Administration アプリケーションでの操作 \(P.1-8\)](#)
- [アクセシビリティ \(P.1-9\)](#)
- [参考情報 \(P.1-10\)](#)